

# 小牧市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	特発性間質性肺炎合併肺癌患者の内科治療に関する後ろ向き調査
当院の研究責任者 (所属)	呼吸器内科 小島 英嗣
他の研究機関および各施設の研究責任者	東邦大学 呼吸器内科 本間 栄 教授
本研究の目的	間質性肺炎は徐々に肺活量が減少し呼吸困難をきたす慢性疾患ですが、しばしば原発性肺癌を合併します。間質性肺炎を合併しない肺癌患者様と比較して、抗癌剤などの治療では使用禁忌（投与してはいけない）とされる薬剤もあります。また、治療中に間質性肺炎が急性増悪を起こし、重篤な合併症になる場合があります。このように、間質性肺炎に合併する肺癌の病状は複雑で、標準的治療がまだ確立していません。本調査は、間質性肺炎合併肺癌と診断した患者様の臨床データを収集分析し、この疾患の有効な治療法を検索することを目的としています。
調査データ該当期間	2012年1月1日から2013年12月31日まで
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さん IV期または術後再発の肺癌で、特発性間質性肺炎を合併されていた方 ●利用する情報 診断名、癌の組織型、癌の遺伝子変異の有無、喫煙歴、年齢、性別、身体所見、血液検査結果、胸部レントゲン、胸部CT、呼吸機能検査、診断時の酸素飽和度、間質性肺炎の重症度、間質性肺炎急性増悪の有無、在宅酸素療法導入の有無、実施された治療内容、その効果判定、転帰とその原因
試料／情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	研究対象となった患者様の情報は個人を識別できる情報を取り除いた状態で調査票を作成し、事務局外にあるデータセンターに送付します。
個人情報の取り扱い	データセンターでは新たに番号を付与して管理しますので、個人を特定可能な情報は一切扱いません。調査票は研究事務局で保管し、論文作成までの研究期間終了後、5年を持って破棄します。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は、公的な資金（厚生労働省科学研究費補助金びまん性肺疾患に関する調査研究班）によって実施しております。外部の企業等からの資金の提供は受けおらず、責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	愛知県小牧市常普請1-20 小牧市民病院 電話：(0568) 76-4131 担当者：呼吸器内科 小島 英嗣

